

大田区自立支援協議会 第6回地域生活部会議事録

文責：中野委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第6回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和元年11月19日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	宮崎 渉	青山 明子	大宮 謙一	鶴田 雅英
	宮嶋 祐紀子	山根 聖子	相澤 あゆみ	榎 拓巳
	恵良 幸樹	小野 英次郎	栈敷 洋子	島村 勝
	清野 弘子	中野 真弓	新田 美和	平井 有希子
	山崎 訓子	山田 悠平		
	区事務局：福島係長、秋山、西澤、齋藤、親跡			
(5) 内容・要旨	<p>1 議題</p> <p>(1) 各連絡会等の情報提供について</p> <p>山崎委員より 11月16日(土)にひきこもり支援の茶話会が実施された。当事者含め30人程度参加。次回は来年の2月25日(火)にLuz大森で開催予定。大田区内にひきこもりの家族会が発足した。会場はステップ夢で毎月家族会を開いていて、10人から15人程度参加している。</p> <p>平井委員より おおたTSネット主催の研修会を12月7日(土)の18時~21時までさぽーとぴあ多目的室で行う。大森榎本クリニック斎藤先生を講師にお招きする。テーマは「小児性愛」</p> <p>鶴田委員より 以前チラシをお配りしているが、12月5日(木)に「道草」上映会を行う。当日のスタッフ募集中。重度の方の一人暮らしの話もある。</p> <p>宮崎委員より 11月16日(土)に発達応援フェアを区役所にて開催。参加者は80名弱。自分と相澤委員が放課後等デイサービスについての説明で参加。たくさんの方が相談に来られた。</p> <p>青山委員より 大田区重症心身障害児(者)を守る会主催で、12月3日(火)10時30分からさぽーとぴあ多目的室において田角先生を招いてB棟の小児ショートステイの活用を考える学習会を企画している。</p> <p>山田委員より 12月5日(木)10時~16時40分 ベルサール東京日本橋でJDFフォーラムが開催される。 基調講演はプレジャーテグナー氏。</p> <p>(2) 第6回「地域生活部会」で討議や検討する議題の確認</p> <p>ア 平成30年度から引き継いだ課題</p> <p>(ア) 重症心身障がい児・者の地域生活の継続</p> <p>宮崎委員より 発達支援マップWGで関連するテーマで勉強会をした。さぽーとぴあB棟のショートステイ利用実績の報告、</p>			

大宮委員から荏原病院の状況などのお話を伺った。来年度は、さぼーとぴあB棟ショートステイが1年を経過するというこもあり、このテーマを検討することが大切だと感じた。

(イ) 就労を目指す上で、18歳までに必要な準備と障害児サービスのつなぎ → 今月の検討はなし

イ その他の課題

山田委員より 今までの専門部会であがっている検討したい課題をまとめて確認できるものを作ってほしい。

事務局より これまでの議事録から課題をピックアップして可視化する。

(3) 大田区自立支援協議会 第2回本会から (10月28日)

ア 内容報告

宮崎委員より 各部会報告があり、意見交換では2年任期になったことを受けた動き方を考えたいなど話した。合同学習会のことなども出た。

鶴田委員より 本会の議事録などのホームページへの更新をなるべく早くしてもらいたい。本会では部会のみ委員も2年任期にするのはどうか、1年ごとに半分ずつの委員が変わるなどの意見もあった。のみ委員を4月になって選定するのはロスがあるので、4月から動けるようにとの意見もあった。

イ その他

事務局より 運営会議の報告

- ・協議会のあり方について 12月までには全部会でWGが作られる予定。第3回本会では次年度に向けた検討を予定。のみ委員推薦に関してどのようにするか運営会議で検討する。
- ・合同学習会について 1月か3月で実施を検討したい。可能であれば昼夜2回開催で広く受講を促したい。
- ・障がい施策推進会議について 各委員の所属するネットワーク体からの意見なども拾ってほしい。
- ・さぼーとぴあより 台風15・19号の対応についての報告。さぼーとぴあ、上池台障害者福祉会館、志茂田福祉センターなどで避難所を開設。区としても振り返りを行い、さらなる検討を進めたいとのこと。

中野委員より 協議会として活動を年間スケジュール化できるよう本会でも検討してほしい。

宮崎委員より だんだんと整えていくように進めたい。各部会との連動制、連携なども含めこれから考えていく必要がある。

(4) 令和2年度の地域生活部会について

ア 令和2年度の地域生活部会スケジュール確認（12月地域生活部会で調整）

事務局より 部屋の予約調整の関係もあるので、12月部会である程度の予定を確認したい。

基本的に午前中の開催を確認。今後、事務局から各委員へ都合の良い曜日を確認する。それをふまえて12月の部会で基本スケジュールを決定する。

イ 令和2年度の各WGの検討（12月、1月の各WGで調整）

事務局より 現状のWG。次年度どのようになるかの検討をWGで検討してほしい。12月、1月で調整をお願いしたい。

#### （5）公開勉強会・公開セミナーについて

ア 講師との調整等の報告

11月13日、鶴田委員、山根委員、山田委員と事務局で田中講師と打合せを行った。

鶴田委員より 会場からの意見をたくさん出して、大田区の現状認識をしてもらいたい。講師からは全国から好事例を紹介してもらおう予定でいる。

山根委員より 気さくな先生で多くの事例を把握されていて楽しみである。当日、フロアから直接質問等を出してもらおうのがよいかと思った。

山田委員より 終了時間13時で、その後会場利用できるので、講師を囲んで昼食をとって懇談するのがよいかと考えている。

自立生活を基調にと思ったが、講師から好事例をたくさん出してもらい、そのような生活を実現するために

はどうしたらよいかと考えられるものになればと思う。

確認事項 障がいの対象としては3障がいと考えてよいか？

→ 中核的には知的障がいではあるが、すべての障がいで考えられることではある。

イ テーマの確定

タイトル 「障がいのある方の地域での多様な暮らし」で確定

ウ 第二部について

パネラーの想定について

鶴田委員より 司会を山田委員へ依頼、パネラーとして風雷社中など考えている。

清野委員より 中重度の方で30代の方が暮らすという状態を語る人がいるとよいと思った。

山田委員より パネラーの人数を決めた方がよい。

中野委員より 時間的なことを考え、パネラーは4人くらいが妥当かと思う。映像上映時間はどれくらいを想定しているか。

山田委員より 10分程度かと思う。

鶴田委員より 詳細を詰めるのは公開セミナーの実行委員などで進めたい。

エ 開始時間等の確定

オ 役割分担決め(12月地域生活部会で調整)

(6) 障がい施策推進会議への対応

委員が関係するネットワーク体からの意見等の確認(12月地域生活部会で調整) 11月は12月のやり方、進め方を確認。

山田委員より 前回部会で山根委員から、この部会での活動内にあるものを、という提案があった。それをふまえて進めてほしいので、WGで意見出ししたい。

事務局より 12月、1月の専門部会で討議の時間を設けることができる。2月の推進会議に間に合うように行いたい。

鶴田委員より そのスケジュール感で進めること各部会へも伝えてほしい。

事務局より 12月に意見を出せるWGがあればそれを共有することもできるかと思う。

山根委員より 障がい施策推進会議ではプランに準拠して検討されるので、それを念頭に意見をまとめてほしいと思う。

(7) 第5回「地域生活部会」専門部会における各WGの振り返り

ア 発達支援マップの検証

→重症心身障がいの短期入所や荏原病院の受け入れ状況などの勉強会を実施した。

イ 就労定着支援の調査・分析

→今までの状況把握のため、埼玉県立大学富田氏を講師で勉強会を行う予定。

ウ 区内施設(日中活動支援)現状確認

→アンケート調査を開始、回収が始まっている。

エ 障害福祉サービス利用に関わるリスト作成

→今回は就労系サービスについて、現状のリストについて確認を行った。

(8) 第6回「地域生活部会」での各WGの準備、作業、確認等

ア 発達支援マップの検証

イ 就労定着支援の調査・分析

ウ 区内施設(日中活動支援)現状確認

エ 障害福祉サービス利用に関わるリスト作成

→各WGに分かれて討議。

○12月作業部会

日時：12月3日（火）10時から11時

会場：さぽーとぴあA棟3階 カンファレンス室

次回部会の役割決めなど

次回、第7回 地域生活部会は

日時：令和元年12月17日（火曜日）10時から12時

場所：さぽーとぴあA棟3階 集会室2